

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する 市民意見提出手続の実施結果

意見募集期間

平成 23 年 12 月 22 日(木)～平成 24 年 1 月 23 日(月)

意見提出状況

(1)提出者 112人・団体 (2)提出意見数 194件

(3)提出方法
 ア 持参 91人・団体
 イ 郵便 5人
 ウ FAX 9人
 エ 電子メール 7人

(4)提出意見の内訳

分 類 名	件 数
計画全般にかかるもの	25
各論1	87
健康づくり・介護予防の充実	(60)
生きがい・社会参加・地域活動の推進	(27)
各論2	11
総合的な認知症対策の推進、権利擁護・虐待防止の充実・強化	(5)
高齢者を支える家族への支援	(6)
各論3	60
身近な相談と地域支援体制の強化	(18)
高齢者を支える介護サービス等の充実	(31)
安心して生活できる環境づくり	(11)
その他	11

(5)計画への反映状況

分 類 名	件 数	割 合
計画に掲載済、または計画期間内に実施予定	113 件	58.2%
計画の追加・修正あり	11 件	5.7%
計画の追加・修正なし	54 件	28.3%
その他	16 件	8.2%
合 計	194 件	100%

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

資料2

	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>				
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>				
<p>追加・修正なし その他</p>				
<p>計画全般に係るもの</p>				
1	<p>高齢者支援計画は、介護保険法、老人福祉法によって作られているが、地域の状況、高齢者の実態を他の法令と関連づけて総合的に作らないと十分な高齢者支援はできないと思う。</p>	<p>この計画の策定に当たっては、市内の高齢者など10,200人を対象にアンケート調査を行うとともに、市民代表や保健・医療・福祉関係者などからなる「高齢者支援と介護の質の向上委員会」において議論を重ね、更に市民、関係団体と直接意見交換を行うなど、高齢者の実態やニーズをきめ細かく把握するよう努めたところです。 また計画の策定に当たっては、保健・医療・福祉をはじめ各分野別の計画と相互に連携を図り、住宅・雇用・教育・コミュニティなどの施策とも関連づけた総合的な計画として策定しました。</p>	3	
2	<p>高齢者支援計画の概略予算を明示すべきと思う。</p>	<p>計画の大半を占める介護保険サービスの事業費について、計画期間内の見込額を計画書に掲載しています。（4-18ページ） また、計画全体の予算額については、毎年度の予算編成にあわせて別途公表します。</p>	3	
3	<p>高齢者の一人暮らしや二人暮らしでは、パソコンが使えない。ホームページ以外でわかりやすく公表してほしい。</p>	<p>計画の素案については、市ホームページとあわせて区役所や市民センターに冊子を配置しました。今後は計画の概要をまとめたパンフレットを作成・配布するなど、市の取り組みについて、よりわかりやすくお知らせします。</p>	2	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>				
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>				
4	<p>この計画素案は、行政の目線で理念や目標がまとめられている。このため非常に理解しにくい計画書となっている。</p> <p>計画の内容について、健康な人から介護が必要な人まで、ライフステージ別にいろいろなサービス・支援を準備していることを、“高齢者とその家族”に明確に示す事が非常に重要であると思う。こうした考えのもと、計画書の再検討・作成を、ぜひお願いしたい。</p>	<p>今回の計画素案では、計画全体を「生きがいと健康づくり」「認知症対策や家族への支援」「相談体制とサービスの充実」の3つの視点から取りまとめ、高齢者のライフステージに応じた施策を盛り込んでいます。市民の皆様への計画の広報にあたっては、ご意見の趣旨も踏まえ、より分かりやすく、親しみやすい内容となるよう検討します。</p>	3	
5	<p>高齢者支援について 病気に対する不安解消のための施策 高齢者が安心して暮らせる社会及び社会インフラの整備 高齢者の能力活用の順番で考えるといいと思う</p>		2	
6	<p>計画の中に見慣れないカタカナ語が出てくるため解説が必要と思う。例えば「レスパイト」とは何か。</p>	<p>レスパイトとは「休息」のことで、介護者の休息のため、一時的に病院や施設へ入所・通所することを「レスパイト・ケア」といいます。計画の中のカタカナ語、専門用語について、巻末に用語解説を添付しました。</p>	3	
7	<p>3年ごとの計画とは別に、少し中・長期的な計画が必要と思う。また、まちづくりの視点から考えるのであれば、少なくとも地域福祉計画と高齢者支援計画、健康づくり、食育などの計画は一つにまとめてもよいのでは、と思う。計画づくりに時間や人手を割くよりも、その分、市の職員と地域住民と一緒に地域活動に取り組んではどうかと思う。</p>	<p>この計画は、本市の基本構想・基本計画である「元気発進・北九州」プランに基づく分野別計画であり、基本構想における長期的なまちづくりの視点や、これまでの高齢社会対策の取り組みを踏まえながら、今後3年間の取り組みについてまとめたものです。なお計画の策定にあたっては、地域福祉や健康づくりなど、保健福祉の分野別計画とも十分に整合を図っています。</p> <p>一方で、多様なニーズにきめ細かく対応するためには、分野別に検討を重ねて実施計画をまとめることも重要と考えています。</p> <p>なお、相談・支援や健康づくりなど、具体的な施策の推進にあたっては、適宜、市の職員が地域に出向いて対応したり、協働して事業を進めています。</p>	2	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>				
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>				
8	計画が実施の移された場合、官民一体となって協働して取り組まなければ成果は期待できないと思う。第二次高齢者支援計画の実施にあたって、所管する課以外の課では、あまり関心がなかったように見受けられる面が多々あった。	ご意見の趣旨を踏まえ、次のとおり追加します。 〔3ページ「計画の位置づけ」(1)〕 なお、高齢社会対策はまちづくりの重要な課題であり、今後とも家庭や地域の支え合い機能を維持し、将来へ向けて活力と魅力ある社会の実現を図るため、この計画に基づく高齢者の支援とあわせて、社会の担い手となる若年者等への就労支援や次世代育成支援、環境への対応など、様々な取り組みを進めます。	2	
9	市民に計画の広報をし、理解を得ることが大切ではないか。	策定した計画を市政だよりや出前講演の実施のほかPR手法を幅広く検討し、積極的なPRに取り組んでいきます。	2	
10	第二次高齢者支援計画の実績が書いていない。二次計画の反省が、どう反映されているかがわからない	第二次高齢者支援計画の成果や課題については、医療・福祉関係者、市民代表、学識経験者等からなる「高齢者支援と介護の質の向上委員会」において検討し、今回の計画における取り組みの方向や事業の内容に反映しています。 なお、二次計画の主な取り組みの成果と課題については、概要をまとめて今回の計画書に掲載しています。 (「各論1～3」各冒頭部分)	3	
11	いつまでも安心して生活できるような計画が着実に実施されるようお願いしたい。	本計画における施策の進捗管理にあたっては、それぞれの事業の活動内容や活動実績とあわせて、取り組みの成果についても評価を行ってまいります。	2	
12	高齢者が支援されるばかりでなく、能力に応じた社会参加・社会貢献を行うことが求められているのではないかと。また、自分の身は自分で守るといったことも大事ではないか	現在本市では、高齢者の皆さんが地域活動の担い手として、広く活躍されています。今後は、より多くの高齢者が自らの健康を維持するとともに、それぞれができる範囲で「地域社会の担い手」として活動できる環境づくりを進めることが重要です。 この計画においては、こうした考えのもと、重点課題として高齢者の主体的な社会貢献活動の支援に取り組むこととしています。	2	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

意見の概要		市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>				
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>				
13	「高齢者支援」よりも「少子化対策」の着実な実施が急がれているのではないか。	<p>本市では、少子高齢化が進む地域の現状を踏まえ、「次世代育成対策（少子化対策）」「高齢者支援」「雇用対策」など様々な取り組みを進めています。こうした「まちづくり」の視点について、ご提案の趣旨も踏まえて、計画総論に次のとおり追加します。</p> <p>〔3ページ「計画の位置づけ」（1）〕 なお、高齢社会対策はまちづくりの重要な課題であり、今後とも家庭や地域の支え合い機能を維持し、将来へ向けて活力と魅力ある社会の実現を図るため、この計画に基づく高齢者の支援とあわせて、社会の担い手となる若年者等への就労支援や次世代育成支援、環境への対応など、様々な取り組みを進めます。</p>	5	
14	計画策定の趣旨で「元気な高齢者が主体となって、さまざまな地域活動が進められています」とありますが「元気だから活動しているのではなく、地域活動等を行っているから健康であり元気なのだ」と言う方が正しいと思う。	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、計画の概要版について次のとおり修正します。</p> <p>〔計画概要版1ページ「計画策定の趣旨」〕 現在本市では、高齢者の皆さんが<u>地域活動の担い手として、広く活躍されています。</u> 今後は、<u>より多くの高齢者が自らの健康を維持するとともに、それぞれができる範囲で「地域社会の担い手」として活動できる環境づくりを進めることが重要です。</u></p>	3	
15	いくら良い制度やシステムがあっても高齢者がその内容を知り活用しなければ意味がない。現在の計画は、制度を作ったから必要な人は活用してくださいという「待ち」の姿勢だと思う。高齢者支援計画は大変重要な計画だし高齢者個人から制度に繋ぐための基本組織（ネットワーク）の確立が必要だと思う。	<p>計画の推進にあたっては、地域に密着した介護保険サービスなどの拡充とあわせて、地域活動に携わる人材の育成支援、各区の「保健・医療・福祉・地域連携推進協議会」の活動の支援、「地域包括支援センター」をはじめ身近な相談・支援体制の強化などに取り組み、本市が培ってきた“北九州らしい”地域のネットワークの更なる充実を図ります。</p>	2	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>				
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>				
16	「地域で見守り」とあるが、ふれあい通信員に「向こう三軒両隣」のつもりで見守りをお願いしているが、任期が1年であり、関心が希薄で、実現はなかなか難しいのではないかと	支援を必要とする高齢者の孤立を防ぎ、身近な見守り・支援のもとで安心して生活できるよう既存の見守り支援ネットワークを中心に、地域や関係者間の連携を推進し、高齢者の在宅生活を地域社会全体で見守ることができるよう、取り組めます。	2	
17	基本目標2 高齢者と家族を大切にし共に支えるまちとあるが、民生委員、福祉協力員が、認知症の人の氏名を尋ねても、個人情報のため、開示は不可とのことで、これでは、認知症の家族を支援できない。また、地域包括支援センターの職員と、民生委員、福祉協力員との会議が一度もない。それで、うまく運ぶだろうか	現在、地域での見守り・支援のため、民生委員に65歳以上の高齢者等の情報を提供しています。しかし、認知症の方に限った情報については慎重な取扱いが求められるため、原則、ご本人の了解をとりながら、地域の支援者の方々と情報共有を進め、支援の充実を図りたいと考えています。また、地域包括支援センターの機能強化を図り、同センターを中心として、地域団体との連携や情報共有に取り組めます。	2	
18	北九州市が考える地域包括システムとは、どのようなものかイメージしにくい。もう少し詳しく説明してほしい。	本市では、小学校区を単位として、保健・医療・福祉・地域が連携しながら、支援の必要な人を地域で支え合うネットワークづくりを進めてきました。この計画においても、これまで培ってきた地域のネットワークを支え合いの基盤として、包括的な地域ケアの充実を図ることとしています。（詳しくは、計画総論42～45ページに記載しています。）	3	
19	「高齢者」が高齢化にともなう機能低下によって「障害がある」状態になり、その障害程度によって「障害福祉サービス」を受けるといふ、障害についての正しい知識の普及・理解の促進として大切である。あわせて、「誰もがなるもの」という視点を啓発し、地域での見守りや社会参加を進めるため、市民への誤解や偏見をなくしていくことが重要である。また、高齢者を介護する家族にも障害者が増え、家族の障害者の持つ課題も合わせて相談支援する体制づくりを行って欲しい。	市民の間に障害に関する正しい知識の普及や理解の促進を図るため、平成23年度に作成する「障害のある人の人権啓発冊子」を活用して、地域住民を対象にしたミニ講演会の開催など、積極的な啓発活動を行っていくこととしています。また、相談窓口については、平成24年度に障害者相談支援の中核となる基幹相談支援センターを設置する予定です。このセンターは、現在の北九州市障害者地域生活支援センターを機能強化するもので、「よろず相談窓口」「必要に応じた訪問相談」「継続支援を要する障害のある人への担当者をつけた支援」を特徴とするものです。是非ご相談下さい。	4	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

		意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】</p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>					
<p>【意見の反映結果】</p> <p>計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>					
<p>追加・修正なし その他</p>					
	20	効果を常に検証しながら、事業を進めていただきたい	本計画における施策の進捗管理にあたっては、それぞれの事業の活動内容や活動実績とあわせて、取り組みの成果についても評価を行います。	2	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】</p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>			
<p>【意見の反映結果】</p> <p>計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>			
		追加・修正なし	その他

各論

各論1 いきいきと生活し、積極的に社会参加できるまち（基本目標1）

健康づくり・介護予防の充実

21	健康マイレージ関係の書類が複数回にわたって届くが、同じ内容で無駄になる。予算がどのくらいかわからないが、他に補助してほしい。	「健康マイレージ事業」は広く市民に参加いただけるように地域に最新情報を届けています。今後はさらにコストを意識した情報提供のあり方を検討します。	2	
22	「健康マイレージ事業」は3年目にもかかわらず「なんですか?」と言う市民がなんと多い。また、「市民センターを拠点とした健康づくり事業」では地域でGO!GO!健康づくりが比較的認知度が高いが、それでもセンターによってはかなり温度差がある。公園での健康遊具は、近くの公園には5～6種類の遊具があるが利用してる人を見かけることはほとんどない。「市民センター」や「まちづくり協議会」をしっかりと動かせるようなものにしてください。そして積極的に健康づくりの活動について社会参加出来るような環境を作ってください。	「健康マイレージ事業」は開始から3年目に入り、徐々に周知が図られ参加者も増えていますが、さらに多くの市民が参加できるように地域が主体となって事業展開する仕組みを検討しており、その中でより効果的かつ効果的な事業PRの方法等についても検討します。「市民センターを拠点とした健康づくり事業」は現在市内の6割強の地域で展開されていますが、今後も全市展開を目指します。公園については、地域の拠点となる公園において、高齢者等の健康づくりに効果的な健康遊具の設置と、健康づくり教室を開催する事業を開始しました。既存の健康遊具についても、効果的な活用が図れるよう、サポーター育成などについても検討していきます。全ての市民がいきいきと生活し、積極的に社会参加できるまちづくりは大変重要であるため、今後も地域の各団体やボランティア等との連携を深め、さらなる住民主体の健康づくり活動を促進します。	2	
23	高齢者体力づくり支援を受けている。改めて基礎運動の大事さが少しずつわかってきた。ついていくのが少し大変だが、回を重ねるにつれ、楽しさを覚えている。少しでも自分の体に取り入れて健康体に努めようと思っている。	本市では、生涯を通じた自主的な健康づくり・介護予防を推進するため、各種教室等を開催しています。今後は、様々な地域において、このような健康づくり・介護予防活動が地域住民が主体となって行われるよう、地域の活動リーダーの育成等にも力を入れていきます。	1	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果	
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>					
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>					
	24	<p>みんなで歩こう北九州について、目標の地点までがむしゃらに歩くため、高齢者にとっては、非常に強行なものであった。高齢者の支援という目標があるなら、例えば、名所等を話ながら楽しく歩けるようなコースの設定を考えてほしい。</p>	<p>健康づくりには、自分の体力や体調に応じて楽しみながら活動を継続することが最も重要です。そのため、本市では「みんなで歩こう北九州」の参加者にもウォーキング前の体調チェックや安全なウォーキングについて注意喚起しました。 今後もより多くの市民が楽しく健康づくり活動に取り組めるよう、地域で健康づくり活動を推進するボランティア等との連携により、安全情報の提供に努めるとともに、身近な地域の特徴あるウォーキングコースの設定等について検討します。</p>	2	
	25	<p>健康づくり事業で健康遊具が設置され、健康づくり教室が始まったが、もっと設置箇所を増やしてほしい。（各区で実施してほしい、身近な公園に健康遊具を設置してほしい）</p>	<p>現在モデル的に市内3箇所で開催教室を開始しました。 今後、各区1箇所、地域の拠点となる公園で同様の遊具設置、教室の開催を行っていくこととしています。</p>	2	
	26	<p>水中歩行教室があるが、回数を増やして、もっと多くの方々が参加できるようにしてほしい。</p>	<p>水中歩行教室の開催にあたっては、会場の制約等があり、開催回数及び参加者数を限定させていただいております。</p>	2	
	27	<p>筋力トレーニング教室や水中歩行教室など種々の教室の参加者の選び方を工夫してほしい。（抽選でもれて参加できないことがある。抽選漏れをなくしてほしい。通年で参加できるようにしてほしい。多少の費用負担があっても、継続して参加できるようにしてほしい。）</p>	<p>筋力向上トレーニング啓発教室は、自宅などで継続して運動に取り組むことができるよう、ストレッチなどの運動方法を普及啓発する目的で実施しています。 そのため、これから健康づくりに取り組もうとする方が、その機会を逸さないように募集方法や教室のあり方について検討します。 また、水中歩行教室については、会場の制約等があり、参加者数を限定させていただくとともに、公平・公正な参加者の選定を行うために抽選による方法をとっています。</p>	2	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>				
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>				
	<p>28 高齢者に関する各種障害要因を予防するためには健康づくり活動が重要である。 本市には健康づくり推進員制度があり、非常に重要で基本的な活動を行うボランティア活動であるが、いかにも市の補助が少ない。何でも金をかければよいというものではないが現在はいかにも少なすぎる。</p>	<p>地域における健康づくり・介護予防活動を促進するためには、地域住民が主体的に取り組める環境整備やリーダーとなる人材の育成が重要となります。 地域における健康づくり活動のけん引役である健康づくり推進員の果たす役割は重要と考えており、健康づくり推進員の活動を促進する効果的な支援のあり方について検討します。</p>	2	
	<p>29 今後、さらに高齢者人口は増え、それを支える現役世代は減っていくことから、介護を必要とする人、特に入所者を増やさない取り組みが必要であると考えます。 長期的な視点で、中高年からの健康づくりやその必要性の啓発などに力を入れ、元気高齢者を増やす取り組みを進めていただきたい。</p>	<p>高齢化が急速に進む中で、地域のコミュニティを維持し、さらに活性化させるためには、地域の高齢者世代が、自らの健康を維持するとともに、地域社会の担い手としても幅広く活躍できる環境づくりを進めることが重要となります。 そのため、健康づくり・介護予防に関する正しい知識の普及啓発や地域における健康づくり・介護予防活動のけん引役となる人材の育成・活動支援、地域のネットワークの連携強化を図り、地域における健康づくり・介護予防活動を促進します。 また、平成25年度からの次期健康増進計画においても、さらに個人が主体的に健康づくり・介護予防に取り組みやすい社会環境の整備について検討していきます。</p>	2	
	<p>30 「健康マイレージ事業」が全国規模のものであれば、シールを全国共通のものにしてはどうか。例えば、「ツデーマーチ」のような全国より参加者の集まる事業では、これを対象事業として、シール又は証明書を発行し、居住地でシールと交換する、また帰省等で帰省先で健康づくり事業に参加した場合、対象事業があればシール又は証明書を発行し、居住地でシールと交換できるようなシステムにしてはどうか。</p>	<p>「健康マイレージ事業」は、市民の健康づくり・介護予防の取り組みのきっかけづくりを目的として、北九州市が独自に取り組んでいる事業です。</p>	5	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>				
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>				
	31 健康マイレージ事業をもっとPRしてほしい	「健康マイレージ事業」は開始から3年目に入り、徐々に周知が図られ参加者も増えていますが、さらに多くの市民が参加できるように地域が主体となって事業展開する仕組みを検討しており、その中でより効率的かつ効果的な事業PRの方法等についても検討します。	2	
	32 健康マイレージのグッズは廃止してもいいのではないか	「健康マイレージ事業」は、市民の健康づくり・介護予防の取り組みのきっかけづくりを目的として実施しています。グッズは、より多くの市民の健康づくりへの取り組み意欲を喚起するために適切な景品を選択することとしています。	2	
	33 筋力向上トレーニング教室は、どのような人が対象になっているのか	運動する上で健康上問題のない65歳以上の方で、日頃の生活の中でできるような運動を学びたい方を対象にしています。	5	
	34 65歳以上を対象としたジムを各区に1つつくっていただきたい。 ・バス停に近く、駐車場を有すること ・高齢者でも楽に操作できる筋トレマシンの設置 ・スタジオで30分から1時間位の教室（体力にあわせて参加できること） ・会費は、体調に合わせるため、チケット制にすること	本市では、身近な地域で生涯を通じた自主的な健康づくり・介護予防活動を継続していただけるよう、筋力向上トレーニング啓発教室や体操教室等の開催を行っています。健康づくりを行うジムについては、市内に多くの民間施設があり、健康に不安がある方が適切なアドバイスを受けながら運動に取り組めるメディカル・フィットネス施設を併設する医療機関もあるため、目的にあった施設を利用していただきたいと考えています。	2	
	35 筋力向上トレーニング教室などのスポーツ教室をいろいろな場所でやっていただきたい。	筋力向上トレーニング啓発教室については、参加者の利便性等を考慮しながら、各区1～2ヶ所程度、それぞれ年間3期実施しています。また、市民センターや体育館、地域の総合型スポーツクラブなどでも各種の体操・スポーツ教室が開催されていますので、ご利用ください。	2	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果	
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>					
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>					
	36	身体や心の健康が大切であり、これらを促進する講演会やイベントをしてほしい。（参加しやすい内容、日時を設定してほしい）	生涯を通じた自主的な健康づくり・介護予防を推進するため、正しい知識の普及啓発を目的として、講演会やイベントなどのPR活動を、多くの市民が参加しやすい内容・日時に配慮しながら実施します。	2	
	37	公園よりも公民館や市民センターに健康遊具や器具を設置していただきたい。	誰もが気軽に、それぞれのライフスタイルに合った時間に健康づくりに取り組むことができるよう、身近な公園において健康遊具の設置を進めています。	2	
	38	健康づくり・介護予防の教室の年間スケジュールを市政だよりなどで広報してほしい。	各教室の具体的な実施日時は、会場や講師との調整もあって決まる時期が未定のため、年間分をお知らせすることは難しいですが、事業内容決定後、できるだけ早い時期に市政だよりで募集するとともに、チラシ・ポスターなどで広報を実施します。	2	
	39	健康づくり・介護予防の教室のビデオがあれば、家で継続して取り組めると思う。	自宅において健康づくり・介護予防に取り組むきっかけとなるよう、ひまわりタイチーやきたきゅう体操のDVDを製作しています。今後、必要に応じて他の健康づくりに関するDVDの製作も検討していきたいと思えます。	2	
	40	平成24年度はメタボ解消に取り組むようだが、あれもこれも活動に入れないで年間を通じた活動としてもらいたい。	健康づくりを推進するためには、生活習慣病の予防は重要であり、その要因の一つであるメタボリックシンドローム等の改善のために、今後も地域における各団体やボランティア等と連携し、継続して実施してまいります。	5	
<p align="center">生きがい・社会参加・地域活動の充実</p>					
	41	高齢社会への対応を急がないといけない。定年延長を含めて、元気な高齢者の労働力を増やすことが大事ではないか。	働く意欲のある元気な高齢者の方々には、その就労ニーズに沿って支援できるよう、関係機関と連携して、就労相談等行っていきます。	2	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

意見の概要		市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>				
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>				
42	寿命が延びていることを考え、生涯学習の場づくりも、もっと力を注ぐべきではないかと思う。	年長者研修大学の校外講座（シニアカレッジ）の開催箇所を増やすなど、より多くの方に学習の場が提供できるようにします。 また、現在、身近な地域の活動拠点である市民センターにおいて、一般教養や趣味・実技的な講座など幅広い内容の生涯学習市民講座を開設しており、この学習への参加は、健康づくりや生きがいがづくり、地域活動にもつながっています。 今後は、「北九州市生涯学習推進計画」（平成23年7月策定）に基づき、学習機会や情報提供の充実を図ります。	2	
43	生活や時間に余裕のある高齢者に地域交流、次世代育成などのボランティアをしてもらおうよう、いろいろな機会を通じてPRしていくことが大事だと思う。	高齢者が参加しやすいボランティア活動等に関する情報の収集や身近な場所での提供などの仕組みづくりを進めることにより、高齢者のボランティア活動の推進を図ります。	2	
44	高齢者によるボランティアを後押しする仕組みづくりも必要と思う。		2	
45	高齢者でも参加できるボランティアがあれば参加したいと思う。		2	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>				
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p> <p align="right">追加・修正なし その他</p>				
46	<p>健康づくり、地域活動の推進などいろいろな取組みがなされているが、活動を知らない人達が多く見受けられる。特に高齢世帯で町内会などに加入していない方達は知らない人が多い。なんらかの方法で知らせるようにしてほしい。また、どのようにして参加してもらうかを考えてほしい。</p>	<p>生涯を通じた自主的な健康づくり・介護予防を推進するためには、身近な地域で各自のライフスタイルに応じた健康づくり・介護予防活動を継続できる環境づくりが重要となります。</p> <p>そのため、地域で活動する団体やボランティア等との連携によって、健康づくり・介護予防に関する効果的な普及啓発のあり方、参加しやすい事業形態を検討していくとともに、地域住民が主体となった健康づくり・介護予防活動の支援・環境整備に取り組んでいきます。</p> <p>また、高齢者が参加しやすいボランティア活動等に関する情報の収集や身近な場所での提供などの仕組みづくりを進めることにより、高齢者のボランティア活動の推進を図ります。</p>	2	
47	<p>市民センターを地域ボランティア活動のキーステーションにし、助けて欲しいニーズの発掘、収集や助けてあげたいボランティア人材の発掘、登録を行うことができないか。</p> <p>現在の市民センターの職員体制で少し工夫すれば始動はできるのではないだろうか。</p> <p>もちろん本格的に拡大すれば職員の増員が必要であろう。</p>	<p>既に、区ごとにボランティア・市民活動センターが設置され、地域ボランティアの登録やコーディネート等の支援を集約して行っています。したがって、市内129箇所の市民センターごとに地域ボランティアの登録等を行うことは、効率的ではないと考えています。ご理解をお願いします。</p>	4	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>				
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>				
	<p>48 市民ボランティア保険の充実化が必要である。何かこの保険のお世話になる事態になった時には市が前面に出て保険処理をすべきである。何でもかんでもボランティアに丸投げすることでは困る。</p>	<p>ボランティア活動は、個人の自発的な意思に基づいて行われる公益的な活動であり、通常その活動に伴うリスクについては活動者が自己責任で対応することとなります。 北九州市では、ボランティア活動中に事故が起きた場合などについて、保険で一定の水準の補償を行う制度を運営していますが、この制度は、活動者の経済的な負担の軽減が目的であり、市が活動者に代わって事故の責任を負うものではありません。 したがって、保険金支払いのための手続きなどは、市と契約した保険会社が行いますが、活動中に他人に損害を与えた場合の示談の手続き等については、第一義的に活動者である当事者（団体の責任者等）で行っていただくこととなります。ご理解をお願いします。</p>	2	
	<p>49 高齢化が進む現状から考えて、敬老祝金などの現金給付は廃止の方向で見直し、その経費を介護サービスに充てるべきではありませんか。</p>	<p>敬老祝金については、長年にわたって社会に貢献してきた高齢者を敬い、長寿をお祝いする事業として定着しています。一方で、高齢化の進展等を踏まえ、これまでも必要な見直しを行ってきたところです。</p>	2	
	<p>50 高齢者の健康づくりの問題点として、定年退職後の健康づくりに関する情報が不足する。定年退職後は仲間から孤立する。加齢による肉体的な衰えに気がつかない。これらを解決するには、仲間づくりが大切だが、その方法は行政、企業とも努力不足だと思う。提案として、定年退職後、健康づくりをどうするかということ定年前に企業説明会を開いて各市民センターの活動状況をセンターの担当者から説明し、退職後のサークル活動への参加の呼びかけをすることが、最低必要なことだと思っている。</p>	<p>生涯を通じて健康で活動的な生活を送るためには、高齢期になる前から健康の維持・増進に努め、身近な地域で各自のライフスタイルに応じた健康づくり・介護予防活動を継続できる環境づくりが重要と考えています。 また、高齢者の健康づくり・介護予防を考える上で、職域保健と地域保健の連携は重要な視点であると考えます。 そのため、ご提案の趣旨も踏まえ、退職される方に、地域の健康づくり・介護予防の取り組みについて情報提供することについて、どのような方法が効果的かつ効率的かを検討していきます。</p>	2	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>				
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>				
51	元気な高齢者が支援が必要な高齢者の面倒をみる介護支援ボランティア制度はどんどんやっているとよい。	平成24年度中にボランティア団体や介護保険施設等と意見交換を行い、平成25年度に実施します。	1	
52	介護支援ボランティア制度の実施にあたって、本来のボランティア活動とは差別化するためにも、「マイレージ制度」のように異なる名称にする。 受け入れる施設に、専門研修を受講した専任のボランティアコーディネーターを配置し、本事業の参加をきっかけに、従来のテーマ型のボランティア活動や、地域の活動に取り組むように促すことが重要である。	平成24年度中にボランティア団体や介護保険施設等と意見交換を行い、平成25年度に実施します。	2	
53	「高齢者いきがい活動支援事業」の中に、閉じこもりがちな高齢者の社会参加につなげるため、JCOM等で介護予防のためのテレビ番組を報道することを検討してほしい。	「高齢者いきがい活動支援事業」では、高齢者が参加しやすいボランティア、生涯学習について、情報提供窓口の設置やインターネットでの情報提供を検討しています。 また、生涯を通じた自主的な健康づくり・介護予防を推進するため、正しい知識の普及啓発は重要であり、テレビ番組の活用についても検討します。	2	
54	高齢者がいきいきと生活できる取り組みを充実させてほしい。（自主的に行っている健康づくりグループへの支援、穴生ドーム等の施設の内容充実、年長者研修大学校を他の地域にも設置してほしい、市民センター等で体だけでなく頭を使う教室をしてほしい）	高齢者による地域活動への支援や既存の施策の充実など、高齢者がいきいきと生活できる環境づくりを促進します。	2	
55	市の高齢者施策を推進していく上での重要なパートナーである老人クラブの位置付け、事業の連携（住み分け）や未加入・未組織の8割の高齢者を現実にだれがどのように支え、事業に参加させていくかなどを、更に記述してほしい。	高齢者施策の推進にあたっては、老人クラブをはじめとする団体や地域住民のみなさんのご協力が不可欠です。今後とも、これらの団体との連携を図りながら高齢者施策を推進していきたいと考えています。	3	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

意見の概要		市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>				
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>				
56	高齢者の方々の買い物のお手伝い、食育アドバイザーとして、ヘルスマイト（食生活改善推進員）の活躍の場をつくってほしい。	ヘルスマイトには食を通じた健康づくりや、食育を推進するリーダーとして、ふれあい昼食交流会をはじめとした高齢者食生活改善に取り組んでいただいておりますが、今後も高齢者を地域で支える担い手としての活動を支援していきたくと考えます。	2	
57	保育時間を延長してほしい。軽度の病気・学級閉鎖等の時に子どものお世話をしてくれる施設があれば助かる。そこに経験豊かな高齢者が働く場所ができないか	<p>現在北九州市では、市内158箇所の保育所のうち143箇所で延長保育を実施しており、今後も事業の拡充に取り組んでいくこととしています。また、仕事の都合や軽度の病気など、一時的に子どもの世話ができないときに、相互援助により子育て支援活動を行う有償ボランティア事業（「ほっと子育てふれあい事業」）があります。</p> <p>このうち保育所では、高齢者を含む地域住民の皆様のご協力をいただきながら、昔遊びなどの体験・交流活動を積極的に進めています。また「ほっと子育てふれあい事業」では、幅広い世代の市民が子育ての援助を行う「提供会員」として従事されています。今後ともこうした取り組みを通じて世代間の交流を深め、安心して子育てできる地域づくりを進めます。</p>	5	
各論2 高齢者と家族を大切にし共に支えるまち（基本目標2）				
総合的な認知症対策の推進、権利擁護・虐待防止の充実・強化				
58	認知症のことについて、まだまだ知らない人が多いと思う。認知症サポーターの養成講座はとてよい取り組みで、身近な場所や、企業、学校などでも行うとよいと思う。PTAの家庭教育学級などと連携してはどうか。	認知症サポーター養成講座については、様々な企業や団体等で開催しており、小学校での講座も行っています。PTAを対象とした講座についても積極的に働きかけていきます。	2	
59	認知症の「ものわすれ外来」はもっと必要と思います。数を増やすことはできませんか。	本市では、認知症の早期発見、早期対応のために認知症に詳しい専門的な知識をもつ43箇所の医療機関に「ものわすれ外来」として協力していただいております。さらに今後は、より身近なかかりつけ医が認知症の診断等の知識を深め、必要により「ものわすれ外来」と連携していくことが大切です。そのために、かかりつけ医を対象とした認知症対応力向上研修を実施しています。	2	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果	
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>					
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>					
	60	<p>高齢者の認知症については、早期の発見、治療が重要だと思う。歯科医師をしているが、認知症の初期症状と思われる「口腔感覚の異常」を呈する患者に出会うことがよくある。歯周病と歯牙欠損は、ほとんどの高齢者の方が有している疾患であり、その方々が、かかりつけの歯科を受診する際に、何らかの形で認知症のスクリーニングを行うことができれば、認知症の早期発見に少しでも貢献できると思う。</p>	<p>認知症の早期発見・早期対応のためには、さまざまな機会を捉えることが必要であり、歯科医師との連携についても検討したいと思います。また、高齢者の健康状態に関する相談対応や関係機関の紹介を行う等のかかりつけ歯科医の役割について、市民への普及啓発を図っていきます。</p>	2	
	61	<p>早期に認知症がわかる方法や本人や家族がどう受け入れるかが鍵だと思う</p>	<p>市民が認知症を正しく理解できるよう、認知症啓発月間記念講演会や街頭啓発、認知症サポーター養成講座などを通じ、市民啓発を推進します。併せて、認知症コールセンターをはじめとする相談窓口を充実し、本人や家族からの相談や悩みに対応します。</p>	2	
	62	<p>民生委員が一般高齢者世帯及び単身高齢者世帯を定期的に家庭訪問して地域の実態を把握するなど、認知症の早期発見、早期対応をお願いしたい。</p>	<p>民生委員は、高齢者等を家庭訪問し、地域における声かけや見守りなどを行っており、気になる事例については、行政に相談するといった役割を担っています。相談を受けた行政では、迅速に訪問等を行い、認知症の早期発見・対応を含め対応しています。</p>	2	
<p align="center">高齢者を支える家族への支援</p>					
	63	<p>高齢者を介護する家族の不安や悩みについて、身近なところで日頃から相談したり、情報交換や介護についてアドバイスが受けられるようなサービスが必要と思う。</p>	<p>高齢者の保健・医療・福祉に関する総合相談窓口として、市内24ヶ所に地域包括支援センターを設置しています。今後も、支援を必要とする高齢者やその家族に、地域包括支援センターを広く認知してもらえるよう努めます。</p>	2	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>				
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>				
64	市役所の相談窓口は、市民にとって身近とは思えません。かかりつけの病院やデイサービス、ケアマネジャーなど、日頃から利用している専門機関や、介護関係者が家族の悩みの相談を受け、支援につないでくれるとよいと思う。	高齢者の保健・医療・福祉に関する総合相談窓口として、市内24ヶ所に地域包括支援センターを設置しています。同センターでは高齢者やその家族をはじめ、様々な高齢者支援の関係者からの相談も受けています。今後も同センターを拠点として関係機関の連携を進めることに加え、市民に身近な区役所の相談体制の充実を図り、高齢者への支援や介護に関する相談への対応を進めます。	2	
65	家で介護している人の負担が軽くなるような支援をお願いしたい。	高齢者を介護する家族等の負担を軽減するため、訪問介護やショートステイなどの在宅サービスの充実を図るとともに、身近な介護施設における介護教室などを実施する予定です。また、認知症コールセンターや排泄ケア相談を実施するなど、さまざまな相談にも応じています。	2	
66	要介護者宅に向いて相談を受けてほしい。	高齢者の保健・医療・福祉に関する総合相談窓口として、市内24ヶ所に地域包括支援センターを設置しており、「出前主義」を掲げ、相談者の状況に応じてご自宅に訪問し相談対応を行っています。	2	
67	介護経験者に相談したいが、どこに窓口があるかわかりにくいので、もっとPRして、市民にわかりやすくしてほしい	本市では、介護経験者が相談員である「ささえあい相談会」を毎月各区で実施しています。開催日については市政だより（区版）に掲載しております。また、市民センター等にもチラシを配付していますが、今後とも市民PRを充実していきます。	2	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

意見の概要		市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>				
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>				
<p>追加・修正なし その他</p>				
<p>各論3 住み慣れた地域で安心して暮らせるまち（基本目標3）</p>				
<p>身近な相談と地域支援体制の強化</p>				
68	「要介護高齢者の食を支える口腔ケア対策事業」を円滑に行うために、要介護者を取り巻く家族や、保健・医療・福祉・地域の関係者が様々な「口腔保健情報」を共有できる場を事業のなかに、組み入れていただきたい。	高齢者の歯科口腔保健（口腔機能向上や口腔ケア等）は、QOLの低下や死亡につながる誤嚥性肺炎・窒息事故の予防のために不可欠です。口腔機能向上の意義や重要性、方法等について、高齢者や家族、介護・医療関係者等に対して普及啓発していきます。また要介護高齢者の歯科保健医療について、関係者を対象とした研修会等を実施し、スキルアップを図るよう努めます。	2	
69	「要介護高齢者の食を支える口腔ケア対策事業」の実施による、より充実した医療連携による「口腔ケア」は、要介護高齢者等がその人らしく生きることを可能にするといえるのではないか。		2	
70	高齢社会では民生委員の役割が一層重要になるが、体制は従来のみである。民生委員のサポートシステムが必要だと思う。	民生委員の負担軽減に向けた研究会を開催し、検討をしています。民生委員と福祉協力員の連携強化など、地域の中の活動者間の連携を推進するとともに、区役所による支援体制の強化を図ります。	2	
71	民生委員と福祉協力員の連絡会議が行われていない。	民生委員と福祉協力員の連携強化を図るため、区役所と区社会福祉協議会による支援強化に取り組めます。	2	
72	一人暮らしの高齢者が室内で転倒等の原因で動けなくなったときに地域包括支援センターに連絡したら、すぐに対応できないといわれた。事務的な手続きをしなければ何もできないらしい。	高齢者の保健・医療・福祉に関する総合相談窓口として地域包括支援センターを設置しておりますが、高齢者の方の多様な相談に迅速に対応できるよう、相談対応の改善に努めます。	2	
73	基本目標3の「いのちをつなぐネットワーク事業」だが、地域では、民生委員、福祉協力員、ボランティア協力員、ふれあい通信員で、孤独死だけは、出さないように努力している。	いのちをつなぐネットワーク事業については、地域の関係者のご協力により、一定の成果をあげていると考えています。今後も、当事業のより一層の推進を目指し、地域と行政の力を結集して、見守りの網の目をより細かくしていくよう、取り組めます。	2	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>				
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>				
	74	基本目標3の「民生委員関連事業」について、早急に充実を図ってほしい。	現在、民生委員の負担軽減に向けた研究会を開催し、対策を検討をしているところであり、民生委員が活動しやすい環境づくりを目指し、早急に取組みます。	2
	75	民生委員と社会福祉協議会との関係を分かりやすいものにしてほしい。 一般住民はこの2者の関係を理解することが出来ない。 福祉ボランティア活動に対する理解不足が生じ、住民からのコンタクトも減少するのではないだろうか。	民生委員は、法律で定められ、厚生労働大臣の委嘱を受けている方々であり、社会福祉協議会の福祉協力員はボランティアの方々です。 それぞれの役割をわかりやすくご理解いただけるよう、啓発を進めます。	2
	76	近所の人等が孤立しがちな高齢者の事を把握していれば、孤独死などの不幸なことはなくなる	支援を必要とする高齢者の孤立を防ぎ、身近な見守り・支援のもとで安心して生活できるよう既存の見守り支援ネットワークを中心に、地域や関係者間の連携を推進し、高齢者の在宅生活を地域社会全体で見守ることができるよう、取組みます。	2
	77	家に閉じこもりがちで社会参加しない人達を社会参加させるかが課題である。（魅力的な方策の必要を感じる。取組みの見直しが必要ではないか）	閉じこもりがち高齢者に対しては、老人クラブによる交流会への参加の呼びかけや、サロン活動の促進などにより社会参加を図っています。 また、閉じこもり等により要介護状態となるおそれの高い高齢者を対象とした介護予防事業においても、より気軽に楽しく参加していただけるような事業のあり方を検討します。	2
	78	近所の人々が地域の見守りや支え合いの役割を担えるように支援する必要があるのではないかと。そうした取組みを計画に記載してほしい	計画の施策の一つに「見守り・支え合いのネットワーク充実」を掲げています。 身近な見守り・支援のもとで安心して生活できるよう既存の見守り支援ネットワークを中心に、地域や関係者間の連携を推進し、高齢者の在宅生活を地域社会全体で見守り支える体制の更なる強化を図ります。	3

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>				
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>				
	79	地域包括支援センターのレベルアップを図るため、研修を充実してはどうか。	地域包括支援センターの質の向上のため、研修内容の見直し等を行い、充実を図ります。	2
	80	地域で認知症を支援している人に対して、報酬制度を設けてほしい	認知症への対応も含め、高齢者支援にあたっては地域住民の相互扶助が不可欠です。現在のところ、地域支援者への報酬制度は考えていませんが、今後とも地域支援者のみなさんのご意見をいただきながら認知症の方を支えるための施策を推進していきます。	2
	81	相談相手がなく一人で悩んでいる高齢者に手を差し伸べてほしい。	高齢者の保健・医療・福祉に関する総合相談窓口として、市内24ヶ所に地域包括支援センターを設置しています。 今後、支援を必要とする高齢者やその家族に、地域包括支援センターを広く認知してもらおうと共に、同センターを拠点として関係機関の連携を進めるなど、相談体制の充実を図り、高齢者への支援や介護に関する相談への対応を進めます。	2
	82	市民センターで開催されている高齢者の交流会に、（一人暮らしの高齢者だけでなく）同居家族のいる高齢者の方も参加できるよう民生委員などが声かけをし、家庭外での高齢者同士の交流を促してほしい。	支援を必要とする高齢者の孤立を防ぐために、地域の見守り・支援において中心的な役割を果たす民生委員をはじめ、地域や関係者、行政が連携し、高齢者の在宅生活を地域社会全体で見守り支え、高齢者同士の交流も促せるよう、更なる強化を図ります。	2
<p>高齢者を支える介護サービスの充実</p>				
	83	色々な高齢者のための支援事業をしてもらい助かっているが、特別養護老人ホーム等入居しやすい金額にしてほしい。	介護保険施設の利用者負担を軽くするため、所得状況に応じて居住費・食費を軽減する制度や高額介護サービス費、社会福祉法人による軽減制度等を設けています。また、その他の施設の更なる負担軽減については国に対して要望を行っていきます。	2

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

意見の概要		市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>				
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>				
84	色々な高齢者のための支援事業をしてもらい助かっているが、施設を増やしてほしい。	施設整備については、市民からの要望の高い特別養護老人ホームと認知症グループホームを中心に、第4期計画（21年度～23年度）の1,054人分を上回る1,334人分を増床するほか、在宅生活を支援する小規模多機能型居宅介護事業所の整備を進めます。	2	
85	認知症対応の施設が少ないと聞いている。家族が大変なので、施設の数を増やしてほしい。		2	
86	高齢者を支える介護サービス等の充実のなかの「複合的な地域密着型サービスの整備」「介護サービスの提供（在宅サービスの提供）」「定期巡回・随時対応型訪問介護か看護の整備」「複合型サービスの整備」について、早急に推進してほしい。	介護サービス等の充実については、計画に基づきながら、順次公募を実施するなど、その実現に向けて取り組んでまいります。	2	
87	現在、介護施設等での仕事に従事している人の待遇があまり良くなく、離職率が高いと聞いている。現場スタッフの給与等、待遇を改善して、利用する人が、快適に生活できる場所を作っていただきたい。	質の高い介護サービスを安定的に提供していくには、介護職員の確保と処遇改善は重要であり、国においては平成24年度以降も引き続き介護報酬の増額などにより取り組んでいく方針です。本市においては、介護従事者の定着率を高めるために、事業主を対象に働きやすい職場づくりに向けた研修会などを実施しており、今後ともこれらの取り組みを通じ積極的に介護人材の定着・確保に努めていきます。	2	
88	介護が必要な人に対する無理解が尊厳を欠いた対応となっている。経験豊かな支援者養成とスキルアップが必要ではないか	介護サービスの質の向上とスキルアップを目的として、介護サービス従事者を対象に必要な知識・技能を習得するための基礎的・専門的研修など多様なテーマの研修を実施しているところですが、今後とも研修の充実を図っていきます。	2	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果	
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>					
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>					
	89	福祉サービスを充実してほしい。 (在宅サービスの充実など)	介護や支援の必要な高齢者ができる限り住み慣れた地域で生活できるよう、介護保険サービスや地域支援事業、それ以外の在宅福祉サービスなどを充実します。また、小規模多機能型居宅介護や新たに創設された地域密着型サービスの整備を行います。	2	
	90	要介護が非該当の高齢者に対する見守りや生活を援助するサービス（買い物やゴミだしなど）を充実してほしい。	要介護認定を受けていない又は非該当の高齢者のうち、一時的に居宅での日常生活に支障のある人を対象に、期間を限定して生活支援、自立指導を行う在宅サービスを実施しています。また、見守りが必要な方については高齢者見守りサポーター派遣サービスを提供しています。	2	
	91	要支援の人へのサービスは継続してほしい。	介護保険サービスは、利用者の心身の状態、その置かれている環境等に応じて、利用者の選択に基づき、必要な人に必要かつ適切なサービスの提供が行われており、今後とも必要な人に適切にサービス提供が行われるよう取り組んでいきます。	2	
	92	高齢者の状態ごとに、どのような施設が向いているかをわかりやすく紹介してほしい。	市内に24カ所設置されている地域包括支援センターは、高齢者の保健・医療・福祉に関する「総合相談窓口」で、専門スタッフが必要な助言や支援を行なっています。また、介護保険サービス等については、今後とも、よりわかりやすい情報提供に努めていきたいと考えています。	2	
	93	高齢者世帯に対して、食事代や通院買い物に係る交通費など、生活にかかる費用の補助をしてほしい。	高齢者のうち、非課税世帯などについては、各種サービスの提供にあたって、利用料の減免などを行っています。	2	
	94	高齢者夫婦の世帯だが、大掃除や高いところの作業等が難しくなっている。有料で気軽に利用できる家事ホームヘルパーがあるとよい。	市内では、高齢者世帯などを対象に簡単な大工仕事や力仕事をするボランティア活動が行われており、多くの方に利用されています。今後とも、介護保険以外の在宅サービスやボランティア活動の促進を図っていきます。	2	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果	
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>					
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>					
	95	介護保険の利用方法がよく分からない。年に1回程度市民センターで説明会を開催してほしい。	本市では、市民の皆様からのお申し出により、職員が地域に出向いて市の施策や事業などについての講演を行う「出前講演」を実施しており、介護保険制度についてもテーマとしています。	2	
	96	入院中の父の施設を探しているが、名簿のみを渡され、中身がわからず手探りで探すしかなく不安である。役所の窓口で教えてくれるところがあるだろうか	高齢者の保健・医療・福祉に関する総合相談窓口として、市内24ヶ所に地域包括支援センターを設置しています。施設の相談にも応じていますのでご利用ください。	2	
	97	介護保険の見直しが必要。自分でできる事は、保険に頼らないように	高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう、健康づくりや介護予防の取組みを推進するとともに、これまで培ってきた経験や知識等を活かしながら積極的に社会参加できるよう、地域社会で活躍できる環境づくりを進めます。	2	
	98	介護保険料が月額1000円も上がるとのことだが、多くの方には負担が重いと思う。介護サービスの利用者が1年で急増するとは思えない。なせ急に金額が上がるのか。また、一年ずつ段階的に引き上げるなどの工夫はできないのか。	高齢者の増加、介護保険施設の整備に伴う保険給付費の増や、第1号被保険者の負担割合の増加等の影響により、本市の第5期保険料は現在の基準額月額4,450円が5,270円と820円上昇する予定です。全国平均でも4,160円から5,000円に840円上昇すると試算されているところです。なお、介護保険料は3年度を単位とした事業計画期間ごとに設定することが原則とされているため、国の考え方に基づき3年間を通じて一定の保険料を設定しています。	2	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>				
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>				
	<p>99 介護認定を受けていない高齢者が8割で、中高年も保険料を払っており、税金も多く投入されていることに比べて、要介護認定を受けている2割の方が1割の負担で介護サービスを受けられるのは、負担が軽すぎるのではないかと。介護保険を利用する方には応分の負担をしてもらうような仕組みにならないだろうか。介護保険制度は法定の制度であることから、変えることは難しいとは思いますが。</p>	<p>介護保険制度は、負担と給付（サービス）の関係が明確な社会保険方式が採用されており、介護が必要な方を社会全体で支える制度です。原則としてサービス費用の9割が保険で給付され、残りの1割を利用者が負担するとされています。 なお、介護保険の利用者負担については、本年1月に示された国の「社会保障・税一体改革」素案にも、そのあり方について検討を行なうこととされています。市としてはこうした国の動向を注視してまいります。</p>	2	
	<p>100 安易に介護保険を使う人が増えれば、保険料は上がるばかりだと思ふ。わずかな年金の中から、後期高齢者保険、介護保険とあまりに高齢者の負担が大きく、その保険料も年々値上げが進むばかりで、年金は減少するばかりである。</p>	<p>高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう、健康づくりや介護予防の取組みを推進するとともに、これまで培ってきた経験や知識等を活かしながら積極的に社会参加できるように、地域社会で活躍できる環境づくりを進めます。</p>	2	
	<p>101 介護保険料の値上げに対する負担感が大きい。（月1000円の値上げは高い、保険料が上昇し続けなければ不安である。低所得者に対して保険料をもっと低くする仕組みが必要ではないか）</p>	<p>高齢者の増加や介護保険施設の整備等により保険給付費が増加することから、平成24年度からの第5期介護保険料は現在の基準額月額4,450円から5,270円に820円上昇する見込みです。保険料の設定にあたっては、負担能力に応じた保険料負担段階とするため現在の10段階を12段階に見直すとともに、介護保険料の剰余である介護給付準備基金などを保険料に充当し、保険料の上昇を抑制しました。また、低所得者への一層の配慮を図るため、本市独自の保険料の軽減制度について資産要件を緩和します。</p>	3	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

意見の概要		市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>				
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>				
102	本市の介護保険料は最も高いと言われている。低所得者が優遇されことは多いが、年金がやや高いものの、低所得者層一步手前の層でも高額な介護保険料及び国民健康保険料は負担が重い。	高齢者の増加や介護保険施設の整備等により保険給付費が増加することから、平成24年度からの第5期介護保険料は現在の基準額月額4,450円から5,270円に820円上昇する見込みです。保険料の設定にあたっては、負担能力に応じた保険料負担段階とするため現在の10段階を12段階に見直すとともに、介護保険料の剰余である介護給付準備基金などを保険料に充当し、保険料の上昇を抑制しました。	3	
<p align="center">安心して生活できる環境づくり</p>				
103	安心して生活できる環境づくりの「サービス付き高齢者向け住宅の普及」「おでかけ交通」「地域カルテづくり事業」「災害時要援護者支援のための仕組みづくりの推進」については、早急に推進してほしい。	この計画では、保健・医療・福祉とあわせて「暮らし（生活環境）」の観点から、住宅や防災、地域活動など幅広い施策を進めることとしています。今後は、計画に基づく取り組みの着実な推進を図り、防災など緊急時の対応はもとより、できるだけ身近なところで必要な機能の備わったコミュニティの維持を目指します。	2	
104	市民センターで活動しているのは、ほんの一部の人で多くの方は、よほどの事業がない限り、出向いてこない。地域住民がこぞもっと気楽に集まれるホーム的な場所づくりができないか	地域で高齢者が気軽に立ち寄り、お茶を飲んだりおしゃべりをして楽しく過ごすいわゆる高齢者のサロン活動は、社会福祉協議会において、推進に取り組んでいます。本市としても、閉じこもりの防止や社会参加意欲の向上などにつながるサロン活動が、より多くの地域に広がるよう、市社協の取組みを支援してまいります。また、小規模特別養護老人ホームを核に、グループホームや小規模多機能型居宅介護を併設した複合的な地域密着型サービスの施設整備においても、サロンを併設することとし、介護予防の拠点づくりと地域交流の場の提供を推進しています。	2	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>				
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>				
105	交通弱者対策として、マイカーを使用したボランティア輸送体制をもっと容易に出来る体制にしたい これは全国的に急速に必要性が高くなっているのではないだろうか。 民間の営業バスとかでは対応できないと思う。	北九州市福祉有償運送運営協議会を設置し、ボランティアによる福祉輸送（マイカーを使用したボランティア輸送を含む）の推進について、検討しています。	2	
106	一人暮らしの高齢者が安心して暮らしていけるよう町内に安心・安全のためのパトロールをお願いしたい	支援を必要とする高齢者の身近な見守り・支援のもとで安心して生活できるよう既存の見守り支援ネットワークを中心に、地域や関係者間の連携を推進し、高齢者の在宅生活を地域社会全体で見守り支える体制の更なる強化を図ります。 また、地域における防犯の取り組みとして、全小学校区（131校区）に「生活安全パトロール隊」が結成され、約1万3千人の方が、活動に参加しています。今後も地域・警察・行政が連携して安全・安心なまちを目指して取り組んでまいります。	2	
107	おでかけ交通の充実を図ってほしい。（利用できない地域が多い。戸畑区大谷にも取り入れてほしい）	おでかけ交通は、地域、交通事業者、市の三者が協力して行う事業です。 おでかけ交通の導入を考えている地域があれば、地域にお伺いして、事業の説明を行います。	4	
108	70歳以上高齢者の公共交通機関の運賃を補助してほしい。西鉄に援助するなどグランドパスをもう少し安くしてほしい。	北九州市では、西鉄バスに対し、事業運営に係る補助金は支出していません。	4	
109	高齢者ほど公共交通機関が必要なので、現在、運行のない路線でもバスの運行を検討してほしい。運行する場合、乗車数を確保のために必要以上に迂回して、結果的に利用者の運賃負担が高くないように配慮してほしい。	市営バス事業は、独立採算であり新規路線の運行にあたり、その採算性が確保できるかの判断をした上で、バスの運行を検討することとしております。 また、民間事業者のバス路線について、地域から新規バス路線の運行要望があれば、その内容をバス事業者に伝え、検討するようお願いしています。	4	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>				
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>				
	<p>110 介護バス（シルバーひまわりサービス）は他の市町村にはないサービスでありがたいが、利用できるバスの台数が少なく、抽選のため、年に1～2回しか利用できない。バスの台数を増やし、軽度の要介護者を介護している人をケアしてほしい。</p>	<p>社会福祉協議会が実施しているシルバーひまわりサービスは、7区で15台の福祉車両を運営しています。そのほか、市内では8団体、福祉有償運送事業を実施しています。当事業については、北九州市福祉有償運送協議会を設置し、事業の推進を目指し、検討しています。</p>	2	
	<p>111 年金暮らしの元気な一人暮らしの高齢者が利用できる、サービス付高齢者向け住宅の普及に早急に取り組んでほしい。</p>	<p>サービス付き高齢者向け住宅の供給促進のため、現在、国による補助や税制、融資による支援が実施されています。市では、サービス付き高齢者向け住宅としての機能を備えていることを確認し登録を行うとともに、運営状況について指導監督を行っていきます。</p>	1	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

意見の概要		市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】</p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>				
<p>【意見の反映結果】</p> <p>計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p> <p align="right">追加・修正なし その他</p>				
その他				
112	北九州市自治基本条例第26条では、個人の人権を重視するあまり自治会加入は任意にしているが、これからの高齢社会を考えれば全住民が参加する自治会組織を確立し皆で見守りあうシステムが特に重要だと思う。	市民が安心して共に生活できる地域社会を実現するために自治会をはじめとするコミュニティは重要な役割を果たしており、北九州市自治基本条例では、地域のまちづくりにおいて重要な役割を果たす団体を「コミュニティ」と定義し、その活動を支援することとしています。なお、自治会の加入は自由であるという裁判例もあることから、条例第26条においては、市民は自治会を含むコミュニティ活動に自由に参加できると規定しています。 近年の防犯・防災、福祉等の地域を取り巻く課題が多様化する中で、住民同士の支えあいの組織である自治会の重要性は増えています。 市としては、自治会は地域づくりのパートナーであるため、これまでも自治会の活性化や加入促進等の支援を行ってきました。自治会の加入は任意であるという最高裁の判例もあり、行政が加入を強制することはできませんが、自治会の意義を理解していただけるよう自治会と連携しながら加入促進等に取り組んでいきたいと考えています。	4	
113	計画の中に「元気な高齢者が地域の担い手として活躍」といった言葉があるが、将来の地域のことを考えると、自治会などの活動に若い世代の参加を促す取り組みが必要と思う。（上手に世代交代をしていくための方策などはないか）	自治会の加入者やお世話をする役員の方の高齢化などにより、コミュニティの維持形成が難しくなり、活動に地域差が生じています。そのため、市としては、次世代の自治会の運営を担う人材の発掘・育成への支援が必要であると考えており、これまでも、地域人材を養成するセミナー等を開催してきました。引き続き、若い世代が参加し、活発に活動できるような取り組みを進めていきたいと考えています。	4	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>				
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>				
	<p>114</p> <p>市の指定ゴミ袋が、結び目が短いなど手指のしびれ等がある高齢者や病気の市民にとって、使いにくくゴミの日が苦になっている。一日も早く改良していただきたい。（弱者・高齢者の使えるゴミ袋を） ・破れないビニール袋をつくる。ビニールの質をよくする（環境衛生上良くない） ・まん中の結び目、短くて結べなくて切れる。（不要） ・両方の取っ手が短くて結べない。長くする ・袋のもつところ短くて切れる少し下げて取っ手を長くしたら結びやすくなる ・ゴミ袋の強度や欠陥について監査（検査）しっかりしてほしい。 ・10枚入りで販売している市の指定ゴミ袋に9枚しかはいつていなかった。</p>	<p>ご意見いただきました結び目や取っ手の長さについては、市民の皆様アンケートを実施して検討させていただく予定です。</p> <p>指定袋の品質管理は次のとおり対応しています。 一般のポリ袋のJIS規格基準より厳しい独自の基準を設定 検査機関で厚さや強さの検査を実施 製造前のサンプル品の検査や納品時の抜き取り検査を実施</p> <p>指定袋の強度確保には十分に対応を行っておりますが、まれに破れるといった不良品が発生した場合には、交換させていただくとともに、製造業者に原因を究明させ、不良品の発生防止に努めているところです。 また、枚数の不足については、不足分を送付させていただきます。</p> <p>不良品、枚数の不足がありました場合には、環境局業務課（582-2180）までご連絡をお願いします。</p>		5
	<p>115</p> <p>市の指定ゴミ袋を海外で作らせるのではなく北九州で作ったらどうか。あわせて、県外にゴミ袋を注文するのではなく北九州市で注文したらどうか。</p>	<p>指定袋の製造業者の選定は、法の規定に基づき、どの業者でも自由に入札に参加できる一般競争入札により、実施することとなっています。</p>		5
	<p>116</p> <p>市の指定ゴミ袋の単価をあげないこと。</p>	<p>指定袋の手数料（販売価格）については、ごみ処理にかかる経費の一部を負担していただくため、条例により定めています。</p>		5

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>				
<p>【意見の反映結果】 計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p>				
117	<p>高齢者の居場所がなかなかなく、外にでる機会が少ない。提案として、人々が往来し元気になるには散歩道をつくり、所々にベンチを多数設置して休み休み歩けるようにする。</p>	<p>歩道上のベンチの設置については、「歩行者や車いす等の通行を妨げないこと」や、「歩行者の回遊性が多く、休憩施設が必要と判断されること」など、条件が整えば設置することがあります。また、ベンチに替わるものとして、腰掛けができる「車止め」や「歩道面より一段高い植樹帯」、さらに、寄り掛かって休憩できる「柵兼用のベンチ」などを設置している箇所もあります。 そこで、これらベンチ等の設置については、自治会などを通して要望を頂ければ、現地の状況を見て個別に判断したいと考えています。 現在、黒崎の「ふれあい通り」では、広幅員の歩道整備とあわせベンチの設置工事を行っています。これは、十分な歩道幅員が確保でき、また今後買い物などで多くの方が賑わい、散策することが見込まれることからベンチを設置することとした事例です。</p>	5	
118	<p>若松体育館のジムを利用しているが高齢者の利用が多くなり混雑している。区内1カ所のみなので2、3ヶ所の増設をお願いしたい。あわせて、若松体育館で高齢者を対象とした体操教室が開催されているが、内容及び開催回数ともに充実させ、高齢者に体育館をもっと有効に使用させてほしい。</p>	<p>現在、市内では若松体育館など4施設でトレーニング室を利用いただいております。また、保健福祉局が障害者スポーツセンターの再整備を行っており、トレーニング室に対するニーズに応えることとしていますので、現在のところ、若松区内で増設の計画はありません。また、高齢者を対象とした健康教室については、今後とも健康教室を実施している（財）北九州市体育協会とより緊密に連携を図りながら、高齢者の健康づくりに資する講座内容の充実等について検討を行ってまいります。</p>	5	
119	<p>延命装置について、臓器提供意思表示カードのように、健康なときに使用希望の有無を意思表示できればよいと思う。</p>	<p>リビング・ウィル（書面による生前の意志表示）については、現在、国において法制化が検討されているところですが、平成20年に国が実施した調査では、国民の約6割が法制化に反対との結果が出ており、引き続き慎重な検討がなされています。そのため、現時点で計画に記載することは難しいと考えています。</p>	4	

「(仮称)第三次北九州市高齢者支援計画」素案に対する
意見と市の考え方

		意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>【意見の内容】</p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見 等） 5 その他</p>					
<p>【意見の反映結果】</p> <p>計画に掲載済、または計画期間中に実施予定 追加・修正あり</p> <p style="text-align: right;">追加・修正なし その他</p>					
	120	高齢者が自由に使えるプールがあればよい。（規制が厳しくないプール）	現在、市内で年間を通して利用できる市営プールは5ヶ所あり、いずれも多くの高齢者の方が利用されています。今後も、利用しやすいプール運営に努めてまいりますので、これらのプールのご利用をお願いいたします。		5